

2

一三二二二

朝斗要報

昭和三十二年
三月二十二日

7. 2. 11

11

目次

一、敵機來襲前、狀況ト之ニ基ク部隊處置

二、天候氣象ノ概要

三、敵機遠襲狀況ト我ガ邀撃戦闘狀況

四、敵機、機種裝備及攻撃法

五、戦果及我ガ方損害

六、射撃彈

控

敵機來襲前ノ狀況ト之ニ基ク部隊處置

一、運ハ左記諸情報ヲ綜合シ、九一五南西諸島全地区ニ對シ敵機或報

(丙號戰備)ニ下令シ邀撃態勢ニ移行セム

左記

一、敵機動部隊三部ハ補助艦ヲ増強シテ依然ハ南支那海及台灣東方東海面

ニ進テ間接的ニ呂宋方面ノ作戰ヲ支援セカクハ在支米軍ト策應シテ

Toin

44066

西諸島、台湾支那沿岸方面ニ對シテ、増援遮断ノ攻撃ヲ再行スル算
大ナリ。マリアナ群島方面、別機動部隊亦南西諸島、台湾、比島方面ニ増
援スルニ徴アリ

(2) 本二日、八二五海軍哨戒機ハ、マリアナ群島ニ基兵、八五度一三〇哩ニ敵機
動部隊(約200機)西進中ナルヲ捕捉ス

(3) 〇七三〇一〇八三〇、間艦載機約百三十機、台湾全島地區ニ來襲主
ニ飛行場ニ爆撃中ナリ

ニ部隊ノ状況

(1) 電波破断部隊ハ陸海軍トモ緊密ニ連絡シテ、鋭意警戒ニ任シ、向射部
隊又對空警戒ニ嚴ニ注意準備ニ遺憾ナキヲ期シ、爾余、部隊ハ
直ニ丙號戰備ヲ移リ、所要、對空部隊ヲ配備スルト共ニ人員、軍需品等ヲ掩
護施設ヲ容員施ス

一 天候氣象、概要

三 敵機來襲状況、我々邀撃戦闘状況

(1) 沖繩本島地區

一〇五先ツ海軍電波破断部隊、與座岳基兵二四〇度一四五料ニ編隊本
島ニ向ヒ近接中ナルヲ探知セルヲ以テ、一〇〇沖繩本島地區ニ對シテ空襲警戒言

報ヲ發令シ、時々刻々敵機ノ行動ヲ探知シ、概ネ一〇四五小隊上
空ニ到達スベキヲ想シ、高射部隊ハ滿ラ持シ待機ス

一〇五ニ敵艦載機、高射部隊ハ直ニ空襲ニ來襲シ、飛行場ニ對シテ急降下銃撃ヲ
行ヒタル後、南方ニ離脱スル、其ノ一機ヲ撃墜ス、本日、穴ノ襲來下令後、敵
機來襲途約四分ノ余格ヲ得且敵機ノ行動ヲ詳細ニ捕捉シ、待
機シテリタルヲ以テ有利ナル對空戰ヲ對テ交フルヲ得タリ

一、二、三、敵機全ク本島周辺ヨリ離脱セルヲ確認シ、一、二、三、空襲
警戒ヲ解除シ、丙號戰備ニ移行シ、警戒ニ嚴ニス
北、中、飛行場ニハ敵機來襲ナシ

(2) 宮古地區

三次ニ亘リ概ネ口九ニ口一三口ノ間末襲撃ヲ詳報待不

敵機、機銃裝備及攻撃法

「下六下」「グラマシ」艦載機ニシテ飛行場ニ對シ高度約二〇〇〇

米ヨリ一機宛、急降下銃爆撃ヲ實施ス

機果及我ガ方ノ損害

の雷艇一機(小録西方海上六料ニ墜落)

④詳細目下調査中ナルモ沖繩本島 陸海軍ニ被撃ナシ

射撃彈左如シ(沖繩本島ノ分トス)

八九式高射尖銳彈 一七發

二式高射尖銳彈 三五發

MA MA 徹甲彈 六發

MA MA 曳光彈 三九發